令和５年度

# 英語コミュニケーション Ⅰ

11　新潟翠江高等学校（通信制）

| 履修区分 | 単位数 | レポート提出回数 | 最低出席時数 | 試験回数 |
|---|---|---|---|---|
| 必履修 | 4 | 12 | 16 | 2 |

| 教　科　書 | 学 習 書･副 教 材 等 |
|---|---|
| *All Aboard! English Communication　Ⅰ*（東京書籍） | 学習書：*All Aboard! English Communication　Ⅰ*（NHK 出版） |

## 学　習　目　標

英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに，日常の話題や情報，考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を育成する。

| | 単 元 名 | | 学 習 活 動 | 評 価 方 法 |
|---|---|---|---|---|
| 前期試験範囲 | Pre-L１・２・Communication ① | be 動詞・一般動詞 | 自己紹介文を書く。 | 第１回レポート |
| | L１ | 過去形 | 前日の夜にしたことついて書く。 | 第２回レポート |
| | L２・L３ | 進行形・助動詞 | 好きな動物について書く。 | 第３・４回レポート |
| | L４ | to 不定詞 | 行きたい場所を表現する。 | 第５回レポート |
| | L５ | 動名詞 | 将来の夢を表現する。 | 第６回レポート |
| 後期試験範囲 | L６ | 受け身 | 好きな絵画を表現する。 | 第７回レポート |
| | L７ | 比較表現 | 関心のある人物について書く。 | 第８回レポート |
| | L８ | 現在完了形 | 開発したいロボットについて考え提案する。 | 第９・10 回レポート |
| | L９ | 分詞 | 環境を守るためにできることを伝える。 | 第 11 回レポート |
| | L 10 | 関係代名詞 | 海外の文化や社会に対する理解を深める活動について書く。 | 第 12 回レポート |

## 学　習　方　法

＜レポート＞

英語の基礎・基本を教科書と学習書を使って学びます。レポートの問題は，教科書・学習書を見ればほとんど解けるようになっています。計画的に取り組んでください。

＜授　業＞

授業ではレポートの問題を取り上げて解説します。授業を受ける前にレポートの問題をやって疑問点などを確認しておきましょう。発音練習などは貴重な機会ですので積極的に取り組みましょう。

＜校内平日スクーリング＞

普段の授業ではできない英語でのコミュニケーション活動や，異文化に触れる講義を受講して，英語の楽しさやおもしろさを実感してください。

＜放送視聴＞

NHK テレビ高校講座「英語コミュニケーションⅠ」の放送を見て，放送内容をレポート冊子の巻末にある放送視聴報告書にまとめます。レポートに添付して提出，合格すれば義務時数の代替になります。

＜試　験＞

レポートの学習内容を確認する問題を出題します。レポートの内容を復習して受験しましょう。

## 評　価　方　法

レポートの提出状況，スクーリングの出席状況，定期考査の成績を総合して評価します。レポートの評価は次の観点から行います。

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 外国語の音声、語彙・表現、文法を、４技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けようとしている。 | 場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしようとしている。 | 外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

## 担当者より一言

授業に出席して，英語の発音やリズムに慣れ親しんでください。 教科書や学習書をしっかり読みながらレポートに取り組み，基本的な英語の文法や表現を学んでいきましょう。